

## コストに強い設計事務所

いくら良いことを言っても、それが理由で建築費が高くなってしまっただけは何の意味もありません。

分離分割発注システムはシステム的に合理的なコストダウンができます、しかしそれは一流の建築会社と同等のコスト管理能力があるという裏付けがあってのこと…

分離分割で安くなった分、仕入れ(建築主直の場合、手配やデリバリーと言います)が高くなっては何の意味がありません。もしかすると分離分割がデメリットになってしまうかもしれません。

しかしながら、建築士として思うと

『安くなるから！！』の目的で『弊社で建築をしましょう！』とは言えません。

建築士は良いデザイン・良い建築物を創るために仕事をしています、安くなるからの目的では建築士のモチベーションが上がりません。

『安くなる…』が目的では流れ作業的に生活のために、仕事を我慢してやっていることになってしまいます。これでは良いデザイン・良い建築物を創ることは到底出来ません。

また、請負の様にコスト(原価)が下がればその分自達が儲かるわけではなく、建築士として第三者監理という立場なら特にモラル(倫理観)を高く持っていなければならず、それだけではコストを下げる努力で自分が潤わないかぎり特に建築主のためにコストを下げる意識は難しく…  
今までの多くの建築家や建築士はこの部分でコストを下げるモチベーションが低かったわけです。そこで私達は倫理観を保ちながら価値観の変化を目指すことにしました。

### 建築士モチベーションのため価値観を変えた事

- 建築の専門家として恥ずかしくない、頼りがいのある存在になりたいし見られたい、だからコストに強くなるう！
- コストが下がればその分良い建材や良いデザインを採用できるはず、コストが下がった分良くなった作品を建築士の益としてモチベーションを上げられる。
- コスト管理ができなければ監理者としてイニチアチブ(主導力)が持てないし、いくら偉そうにしてもお飾りでしかない、本当の意味で主導できれば建築士の思う建築が出来る！

### 弊社が設計事務所なのにコストが下がる理由

- 小西はハウスメーカーの積算や企画、その他の経験があります、そのためハウスメーカーのコスト管理のノウハウ、仕入れ価格、協力業者、などの知識を持っておりそれを提供できる。
  - 一括請負では無いので特定の建材や方式に縛られず、常に最良を求めることが可能。
  - メーカーや卸、商社などや良質で力のある専門工事業者のデリバリー先を持っている。
  - 建築実績から工事業者・資材業者・職人と弊社間に立場をわきまえた相互の信頼関係がある
  - 設計事務所として特別品になっている為、大量生産コストダウン = 量の論理に左右されない
- 小規模の建築会社さんよりは安価なことが沢山ありますが、建築主様直接の取引の為、建築会社様と専門工事業者との問題がありますHP上では詳細を公開できない事をご理解ください。

(株)小西建築工房の許可無く本文書の一部あるいは全文のコピーならびに内容の転用を禁じます